

地域とともに未来をひらく

東北電力からのお知らせ

本誌は女川原子力発電所が立地している女川町、石巻市と、隣接する登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町の皆さまに、女川原子力発電所の情報を中心にお知らせしていくものです。

津波への備え
海拔29メートル
 女川原子力発電所の防潮堤

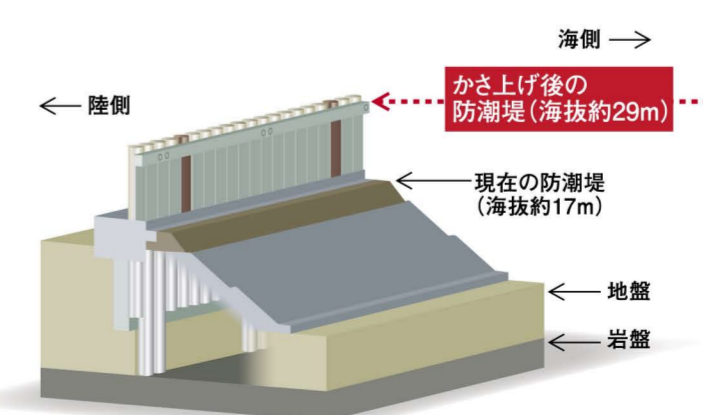


(平成27年1月下旬陸側から撮影)

守り抜いた安全を
 「より安全へ。」

防潮堤のかさ上げ工事が進んでいます。

女川原子力発電所では、東日本大震災後の最新知見に基づき、最大の津波高さを23.1mと想定しました。その結果を踏まえ、現在の防潮堤(海拔約17m)を海拔約29mまでかさ上げする工事を進めています。



▲女川原子力発電所の防潮堤かさ上げイメージ (2016(平成28)年3月完成予定)



鋼管は168本打ち込みます

おでかけ暦

4月 April 5月 May 6月 June

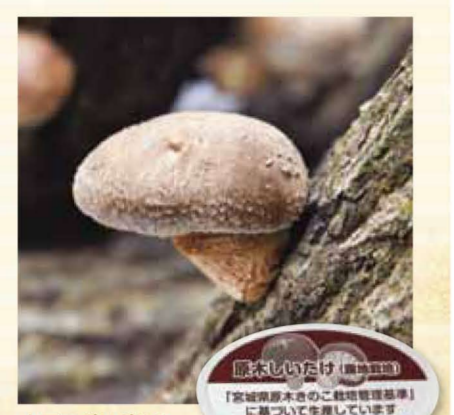
※期間・会場等はすべて予定です。詳細は各市町にお問い合わせください。

- 女川町**
 きぼうのかね商店街 祝! 3周年記念感謝祭
 期間:4月29日(水・祝)
 会場:きぼうのかね商店街
 初日大祭本祭
 期間:5月5日(火・祝)10:00~5月11日(月)15:00まで
 会場:金華山黄金山神社 女川港・鮎川港から増便が出港します。
 マリンパル女川おさかな市場「銀鮭・かつお祭り(予定)」
 期間:6月13日(土)~14日(日)10:00~15:00
 会場:マリンパル女川おさかな市場
- 東松島市**
 涌山桜まつり
 期間:4月下旬
 会場:涌山公園
 縄文体験・体感WEEK!
 期間:5月2日(土)~6日(水・振替休日)
 会場:奥松島縄文村歴史資料館
- 涌谷町**
 第65回東北競馬競技大会
 期間:4月19日(日)
 会場:涌谷町江合川河川敷
 夜桜花火大会
 期間:4月25日(土)
 会場:涌谷町江合川河川敷
 つるしびなまつり
 期間:4月15日(水)~5月5日(火・祝)
 会場:鶴岳山実相坊
- 美里町**
 こごた桜まつり
 期間:4月中旬
 会場:小牛田公園(泰山公園)
 第26回活き生き田園フェスティバル
 期間:6月13日(土)、14日(日)
 会場:美里町野外活動施設、美里町南郷庁舎前広場ほか
 パラフェスティバル・2015
 期間:6月下旬
 会場:ハニーローズなんごう
- 南三陸町**
 志津川湾ホタテまつり福興市
 期間:4月26日(日)9:30~14:30
 会場:南三陸町内
 田東山つつじまつり福興市
 期間:5月24日(日)9:30~14:30
 会場:南三陸町内
 志津川湾銀ざけまつり福興市
 期間:6月28日(日)9:30~14:30
 会場:南三陸町内
- 石巻市**
 河南鹿嶋ばやし山車祭り
 期間:4月19日(日)
 会場:広瀬地区
 春のマンガタン祭り2015
 期間:5月3日(日・祝)~5日(火・祝)
 会場:石ノ森萬画館、中瀬公園
 牧山あやめ祭り
 期間:6月下旬~7月上旬
 会場:牧山零羊神社
- 登米市**
 東北風土マラソン 2015
 期間:4月26日(日)
 会場:迫町
 メイン会場(スタート・ゴール地点):登米市 長沼フットピア公園
 米山チューリップまつり
 期間:4月下旬~5月上旬
 会場:米山町(道の駅米山)
 みなみかた花菖蒲まつり
 期間:6月下旬~7月上旬
 会場:南方町:南方花菖蒲の郷公園

登米の原木しいたけ

肉厚で風味豊かな原木しいたけが復活!

登米市のしいたけは、東北の北上山系に広がる2935haの豊かな森の中で育れます。登米市では45年ほど前から栽培が始まり、濃厚な味わいが評判となり、地域に広まりました。



肉厚でぷりぷりのおいしいしいたけ
 震災、そして放射性物質の影響による出荷制限措置。生産者にとって厳しい時期が続きましたが、平成26年8月に出荷制限がようやく解除されました。「今回の解除は、生産者だけの努力では、どうにもなりませんでした。」生産者と行政が同じ思いで取り組んだ結果だ、と生産者の千葉さんは話してくれました。



「安全な原木を取り寄せ、試験栽培を続け、検査を繰り返し、国の基準値をクリアしました。」(千葉さん)

待ちに待った出荷制限解除。解除後、初の原木しいたけの出荷は3月下旬の予定です。生産者の方々は、みなさまにおいしいしいたけを早くお届けしたいという気持ちです。



早くお届けしたいという気持ちです。

最初は地元の道の駅などで販売の予定です。春を感じに、登米市に足を運んでみてはいかがでしょうか。

取材協力:しいたけ生産者 千葉 公明さん(登米市)

各事業所の取り組み

エネルギー出前講座を実施しています。

当社では、地域の子もたちに環境やエネルギー問題の現状、発電の仕組みなどについて関心を高めてもらうため、社員が講師となって小学校や中学校、地域学習施設などで「エネルギー出前講座」を実施しています。暮らしの中での電気役割をはじめ、家庭に電気が届くまでの道のりや発電の仕組み、エネルギーと地球環境との関わり、再生可能エネルギーなどについて、スライドや発電所の模型を用いて説明しています。また、手回し発電機を使つての発電実験なども行っています。ご希望の方は東北電力までご連絡ください。



女川原子力発電所の安全対策をホームページで詳しく紹介しています。 <http://www.tohoku-epco.co.jp> **東北電力** **検索**

お問い合わせはこちらまで

- 東北電力 宮城支店 TEL022-225-2141
- お引越・アンペア変更 0120-175-266
- 停電・緊急時のお問い合わせ 0120-175-366
- その他のお問い合わせ 0120-175-466

※お電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。 ※お問い合わせの内容によっては、担当部署からの折り返しの電話により対応させていただく場合がございます。

原子力発電所の事故を起こしてはならない!

東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の要因



そのために、女川原子力発電所が すでに実施していた対策とは!!

浸水を防ぐ

いつまた大きな津波が来るかわからない

海拔17mの高さまで 長さ600mの守りの壁

2011(平成23)年12月1日、発電所の敷地(海拔13.8m)の上に高さ約3mの防潮堤を築く工事が始まりました。真冬の間も工事は進み、2012(平成24)年4月26日に終了。土にセメントを加えて強度を高めたセメント改良土を使用した防潮堤を、長さ約600mにわたって設置しました。
▲セメント改良土を使用した防潮堤(上部緑色部分)

なお、防潮堤は現在、最新の知見に基づき想定した最大の津波高さ23.1mを踏まえ、海拔約29mまでかさ上げする工事を進めています。



女川原子力発電所2号機の新規制基準適合性に係る審査の状況

女川原子力発電所2号機については、2013(平成25)年12月27日に原子力規制委員会に新規規制基準適合性審査に係る申請をしました。これまで基準津波の策定や火山影響評価などの項目について、審査会合が31回開催されています(2015(平成27)年2月末現在)。詳しくは当社のホームページ<http://www.tohoku-epco.co.jp>をご覧ください。



2013(平成25)年12月撮影

電気が必要

いざという時のために訓練だ



電源車 6台を配備

2011(平成23)年3月末、8トントラックにディーゼル発電機を搭載した電源車を4台、2013(平成25)年4月にはさらに2台、合計6台(合計2400kVA)の電源車を配備しました。



▲配備した6台の電源車

大容量電源装置を設置 (空冷式大型ディーゼル発電機)

2012(平成24)年2月、海拔52mの高台に「大容量電源装置」を設置しました。空冷式の大型ディーゼル発電機3台(合計15000kVA)です。万一、外部電源や8台ある非常用ディーゼル発電機が使えなくなった場合でも、この装置で原子炉や使用済み燃料プールを冷やすために使う電気がまかなえるようになりました。



この装置があれば原子炉の冷却を続けることができる

水が必要

代替注水車 3台を配備

2012(平成24)年3月、海拔60mの高台に、毎時168トンの送水能力を持つ「代替注水車(可搬式ポンプ)」を3台配備。原子炉や使用済み燃料プールに注水するためのポンプが使えなくなっても、代替注水車で直接注水できます。



▲代替注水車



電源喪失やポンプが壊れたとしても...

長さ4kmのホースを備えた 送水車 2台を配備

2012(平成24)年9月、さまざまな状況に柔軟に対応できるように長さ約4kmのホースを備えた送水車(代替海水ポンプ)を2台配備しました。原子炉や使用済み燃料プールの冷却に欠かせない海水ポンプが万一使用できなくなった場合に対応できる、毎時1800トン汲み上げ可能なポンプを積載した車両です。



▲送水車

※イラストはイメージです。

女川原子力発電所は、地域の皆さまの安心につながるよう、これからもさらなる安全性向上に取り組んでまいります。